

# 日本中国学会会報

NIPPON CHŪGOKU GAKKAI

1990年<sup>10月</sup>  
(平成二年)  
第2号

〒113 東京都文京区湯島1丁目4-25湯島聖堂構内 電話 03-251-4606

## 彙 報

◎ 第42回大会は駒沢大学において10月20日・21日の二日間にわたって開催され、盛会裡に日程を終了いたしました(参加者526名)。中村璋八・釜屋修両教授をはじめとする駒沢大学の関係各位に心から感謝申し上げます。

10月20日における諸報告及び決定事項は次の通り。

### 【議決事項】

- (1) 平成元年度収支決算書が承認されました。(P. 4参照)
- (2) 平成2年度収支予算書(案)が承認されました。(P. 5参照)
- (3) 会則の一部改正が承認されました。(同封の別紙参照)
- (4) 名誉会員推薦規約・選挙管理委員会規約の一部改正が承認されました。(同封の別紙参照)
- (5) 次年度の大会開催校は神戸大学(神戸)に決定いたしました。10月19日(土)・20日(日)の予定。

### 【諸報告及び関連事項】

- (1) 野村茂夫理事の地区移動にともない、宇野茂彦氏が繰り上げ当選されました。  
金谷治・本田済評議員の定年にともない、篁文生・黒川洋一氏が繰り上げ当選されました。  
野村茂夫評議員の地区移動にともない、菅野礼行氏が繰り上げ当選されました。  
山井湧評議員の逝去にともない、溝口雄三氏が繰り上げ当選されました。  
山井湧学術専門委員の逝去にともない、野村茂夫氏が繰り上げ当選されました。  
平成2年度の選挙管理委員は、次の各氏に委嘱されました。(＊は新任)  
    (理事) ＊伊藤 漱平(委員長)・村山 吉広  
    (評議員) 中野 達・丸山 昇  
    (一般会員) ＊金 文京・影山 輝国・＊館野 正美・鷲野 正明
- (2) 『学会報』第43集の編集担当校は、昨年に引き続き大東文化大学(責任者は内山知也教授)です。  
第43集の「学会消息」欄の原稿を、記入責任者から大東文化大学文学部中国文学研究室(〒175 東京都板橋区高島平1-9-1)宛お知らせ願います。資料は平成2年1月から12月までのものとします。

『学会報』第43集の〈学界展望〉執筆校は次の通りです。

哲 学 京都大学文学部中国哲学史研究室・代表：内山俊彦教授(新規)  
(〒606 京都市左京区吉田本町)

文 学 早稲田大学文学部中国文学研究室・代表：松浦友久教授（新規）

（〒162 東京都新宿区戸山1-24-1）

語 学 京都産業大学外国語学部中国語学研究室・代表：藤井栄三郎教授（継続）

（〒603 京都市北区上加茂本山）

著書及び論文の抜刷などの資料を平成3年1月末日までに上記各研究室宛にお送り下さい。収載資料は平成2年1月から12月までのものとします。

〈学界展望〉につきましては、昨年に引続き本年も資料現物の送付とは別に会員各自同封用紙（二種類あり）により自己申告していただくことになりましたので、同用紙に記入の上、同封の封筒を利用して明年1月末日までに御返送下さい。郵送費は各自御負担願います。なお、御申告が無い場合は収載漏れとなることがありますので御注意下さい。また、研究論文目録として掲載不適当と思われるものは、執筆校の判断で割愛されることもあります。

○『学会報』の原稿公募について

締切日 平成3年1月31日（当日消印有効）

枚 数 本文・注・図版等あわせて400字詰原稿用紙55枚以内

要 旨 400字詰原稿用紙5枚以内を添付する。

応募者は『日本中国学会報』巻末の「論文執筆要領」を参照の上、これを遵守して下さい。

（原稿は必ず郵送のこと。本部持ち込み厳禁。）

(3) 「漢籍データベース化小委員会」における活動の成果が、東西の委員会を代表して、丸山昇委員から報告されました（『学会報』P. 275以下を参照）。平成2年度は東西の小委員会を統合し、「中国書データベース化委員会」として活動を行なうことになりました。

(4) 本年度の日本中国学会学会賞は、以下の通り。

哲学部門 該当者無し

文学部門 佐藤正光会員（二松学舎大学）

理事長より選考理由が述べられたあと、学会賞記と賞金（5万円）が贈られました。

(5)

計 報

昨年総会以降、次の4名の会員が逝去されました。謹んで御冥福をお祈り申し上げます。

山井 湧（関東）	90 4・16	金 濤（近畿）	90 3・25
増田 清秀（近畿）	90・9・6	加藤 秀雄（九州）	89 12・30

○平成元年10月8日現在での退会者は別記の通りです（P. 7参照）。

○別記の住所不明者名簿（P. 7参照）について、御存知の方は御一報願います。

○会費未納の方は同封の振替用紙で至急御送金願います。（振替：東京6-89927）

○会費未納が2年に達した方には『学会報』を送付いたしません。また4年にわたった方は会員資格が停止されます。

○『学会報』を学術刊行物扱いで送付する関係上、会員名簿は「会報」と共に送付することになっておりますので、御了承下さい。

○住所・所属機関等変更の場合は速やかに御通知下さい。

## 平成2年度文部省科学研究費採択状況一覽

〔\*印は、前年度からの継続〕  
〔+印は、萌芽的研究〕

### 総合研究 (A)

#### 人文・社会系

- 東アジアの学問的世界 『贅語』の総合的研究 (200万円) 小川晴久 (東京大学)
- 中国近現代文学における女子日本留学生の実態とその果たした意義に関する  
総合的研究 (340万円) 佐藤 保 (お茶の水女子大学)
- 中国思想史基礎範疇の体系的研究 (350万円) 溝口雄三 (東京大学)
- \* 風水説の変遷・受容過程と近現代的応用実態に関する学際的基礎研究 (100万円)  
渡辺欣雄 (都立大学)
- \* 漢語諸方言の総合的研究 (200万円) 岩田 礼 (静岡大学)
- \* 台湾平埔族の言語資料の整理と分析 (200万円) 土田 滋 (東京大学)

### 総合研究 (B)

#### 人文・社会系

- 「近世漢籍国際会議」の準備 (140万円) 芦田孝昭 (早稲田大学)

### 一般研究 (B)

#### 人文・社会系

- 宋代における文人階層の変容と詞の発展の関係 (180万円) 村上哲見 (東北大学)
- 三国志に記された東アジアの言語および民族に関する基礎的研究 (340万円)  
河野六郎 (東洋文庫)
- \* 鹿地亘資料から見た日中戦争期中国文学の問題点の研究 (80万円) 丸山 昇 (東京大学)

### 一般研究 (C)

#### 哲 学

- 『司馬法』復元に関する研究 (110万円) 関口 順 (埼玉大学)
- + 魏晋南北朝期の地理思想の思想史的研究—「水経注」を中心として— (60万円)  
薄井俊二 (埼玉大学)
- \* 南北朝隋唐期の道教の教理体系の解明と道教用語の収集・整理 (40万円) 小林正美 (早稲田大学)
- \* 清代考拠学における経書解釈とその認識論的背景 (70万円) 浜口富士雄 (群馬県立女子大学)

#### 文 学

- 閩方言の比較音韻論的研究 (100万円) 樋口 靖 (筑波大学)
- 『西遊記』の総合的研究—朝鮮朝・琉球国の受容及び研究資料の蒐集を中心として— (100万円)  
磯部 彰 (富山大学)
- 時事的素材より見た「金瓶梅詞話」における創作手法と創作意図に関する研究 (100万円)  
荒木 猛 (長崎大学)
- 唐代の酒令の研究 (90万円) 斉藤 茂 (大阪市立大学)
- 日中比較戯曲論—その舞台構造を中心として— (90万円) 磯部祐子 (高岡短期大学)
- + 中国近代知識階級の成立と“文学”の誕生・発展をめぐって (110万円) 藤井省三 (東京大学)
- + 水滸伝の成立過程の研究 (80万円) 中鉢雅量 (愛知教育大学)
- \* 中国語学史の総合的研究—言語観・研究活動の展開を軸として— (70万円)

大島正二 (北海道大学)

[P. 8 に続く]

